



人づくりに燃える!

笠は文部科学委員会の野党筆頭理事として、
下村大臣と4回にわたって論戦を展開しました。



質問に立つ笠



答弁する下村文部科学大臣

臨時国会報告

2020東京オリンピック・パラリンピックについて

笠 オリンピックとパラリンピック大会を一体的に運営すべきではないか。開会式の同時開催や特定種目の決勝戦を同日に開催することなどを検討して、共生社会に対する日本の姿勢を国際社会にアピールしていく必要がある。

下村大臣 両大会の連携を重要視する必要があると思うし、一体的に盛り上げるという考えは、まさに、日本が目指す共生社会の実現を図る上で大変有意義なことであると思う。委員のご提言は貴重な提言として受け止め、何が実施できるか大会組織委員会とともに創意工夫しながら前向きに考えていきたい。

笠 ロンドン大会ではパラリンピックの会場はどこも観客があふれんばかりの大盛況だった。東京大会成功に向けて、パラリンピック選手の活躍のためにオリンピック選手と同じように支援を強化していく必要がある。パラリンピックのアスリート専用のナショナルトレーニングセンターを早く設置すべきだ。

下村大臣 厚生労働省や財務省との調整が必要だが、パラリンピアンのためのナショナルトレーニングセンターをつくることを前提として、しっかり検討していく。

高校無償化制度の所得制限導入について

笠 保護者の収入や家庭の状況に関係なく、社会全体で子どもたちを育み、学習権を守っていくという理念で制度をつくった。所得制限によってこの理念が大きく後退したと指摘したい。

下村大臣 高等学校に対して、より公財政支出を増やすことによって負担を軽減することは必要だが、トータル的なバランスの中で、財源が限られている中での判断とご理解頂きたい。

笠 私たちは政府全体の中で公共事業費を削減して、文教予算を増やして財源を確保した。財務省に対して、低所得者対策と公私間格差の是正に向けて、更に予算を上乗せする交渉をすべきだ。将来、財源が確保できれば所得制限がないほうがましと思うか?

下村大臣 ご指摘の通りです。トータル的な教育予算の獲得に向けて頑張っていく。

笠 日本の公立学校制度の中で初めて、所得による線引きがされる。支援が受けられる子とそうでない子が一緒に同じ教室、同じ学校で学ぶことへの心理的影響を懸念している。

下村大臣 そういうことが学校現場、子どもたち同士の中で起こらないような配慮は十分にやっていきたい。

この他、民主党政権時に、小学1、2年まで実現した35人以下学級について、中学3年まで着実かつ計画的に推進するように求めました。また、6月に議員立法で「いじめ防止対策推進法」を成立させましたが、これを受けての文部科学省の取り組みについて質しました。特に、国が協議会を設置して具体的な運用についてのガイドラインを策定することになっていますが、このメンバーにお子さんが犠牲になったり、いじめで苦しんだ経験のある方々のNPOなど、当事者もメンバーに入ってもらい、実効性のある対策をとるよう要請しました。

野党3党の有志による勉強会 「既得権益を打破する会」を設立 笠は幹事長に就任!

12月10日、民主、維新などの中堅・若手による勉強会が発足しました。85人が入会し、呼びかけ人として準備を進めてきた笠は、細野、松野、江田共同代表の下、幹事長に就任しました。今後は、規制緩和や地方分権などについて議論していきます。

自民党に対峙できる、受け皿となり得る勢力の結集は必要です。国会対応を考えると野党の連携強化も重要です。

マスコミは新党、野党再編だと煽りますが、それはあくまでも結果の話で、まずはこうした機会を通じて政策を研鑽し、人間関係を構築していくことが大事だと思います。既に立ち上げた外交・安全保障の3党勉強会も含めて、しっかりと頑張ってまいります!



議員活動10年を記念して教育の 未来をテーマに本を出版しました



2013年12月10日発売
定価：1,200円+税

①インターネットで購入する

教育の未来を語ろう

②書店で購入する

都内の大手書店、選挙区(川崎市多摩区・麻生区)の一部書店でご購入いただけます。取扱い店舗に関しては笠ひろふみ事務所(TEL. 044-900-1800)までお問い合わせください。